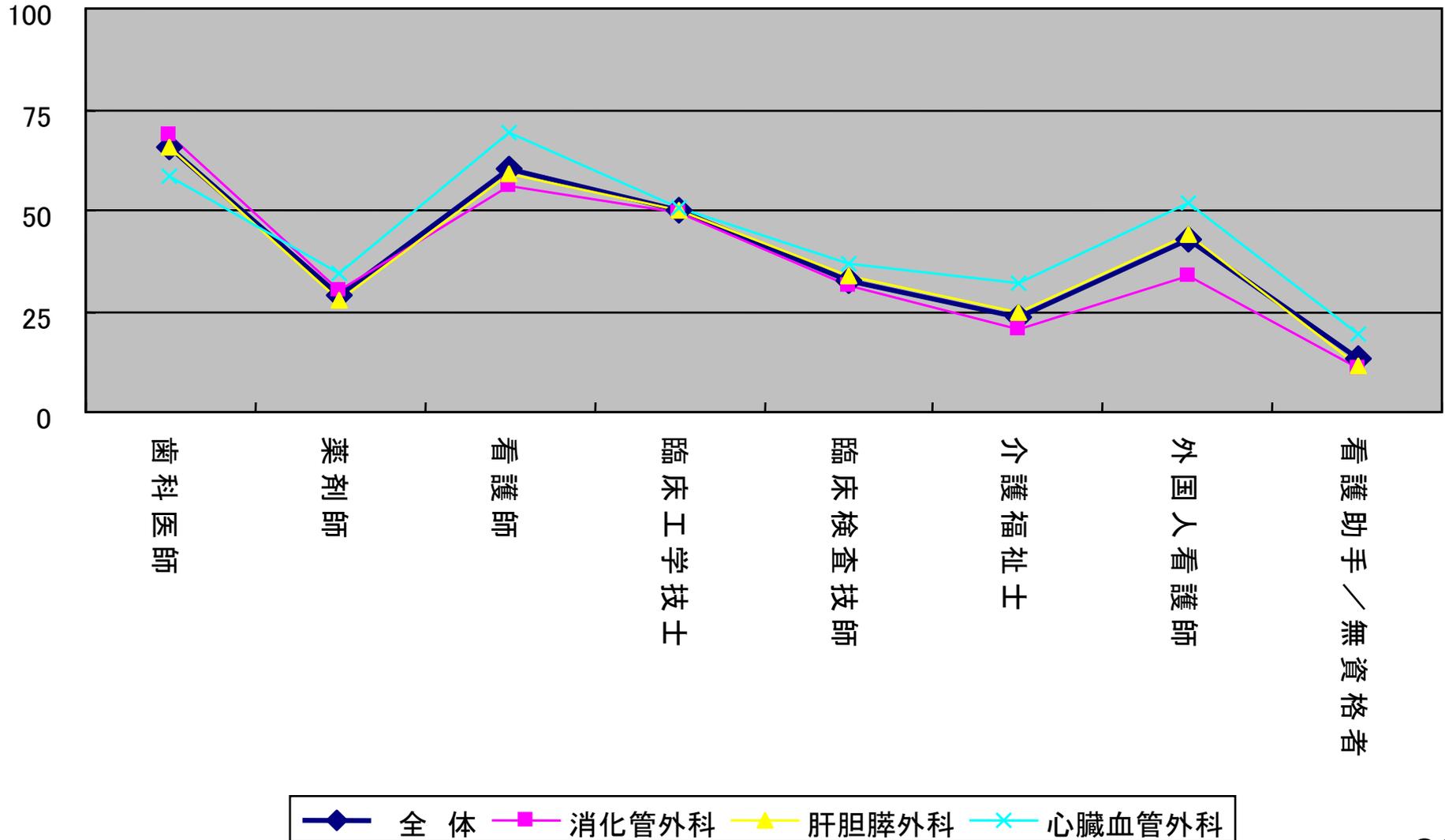
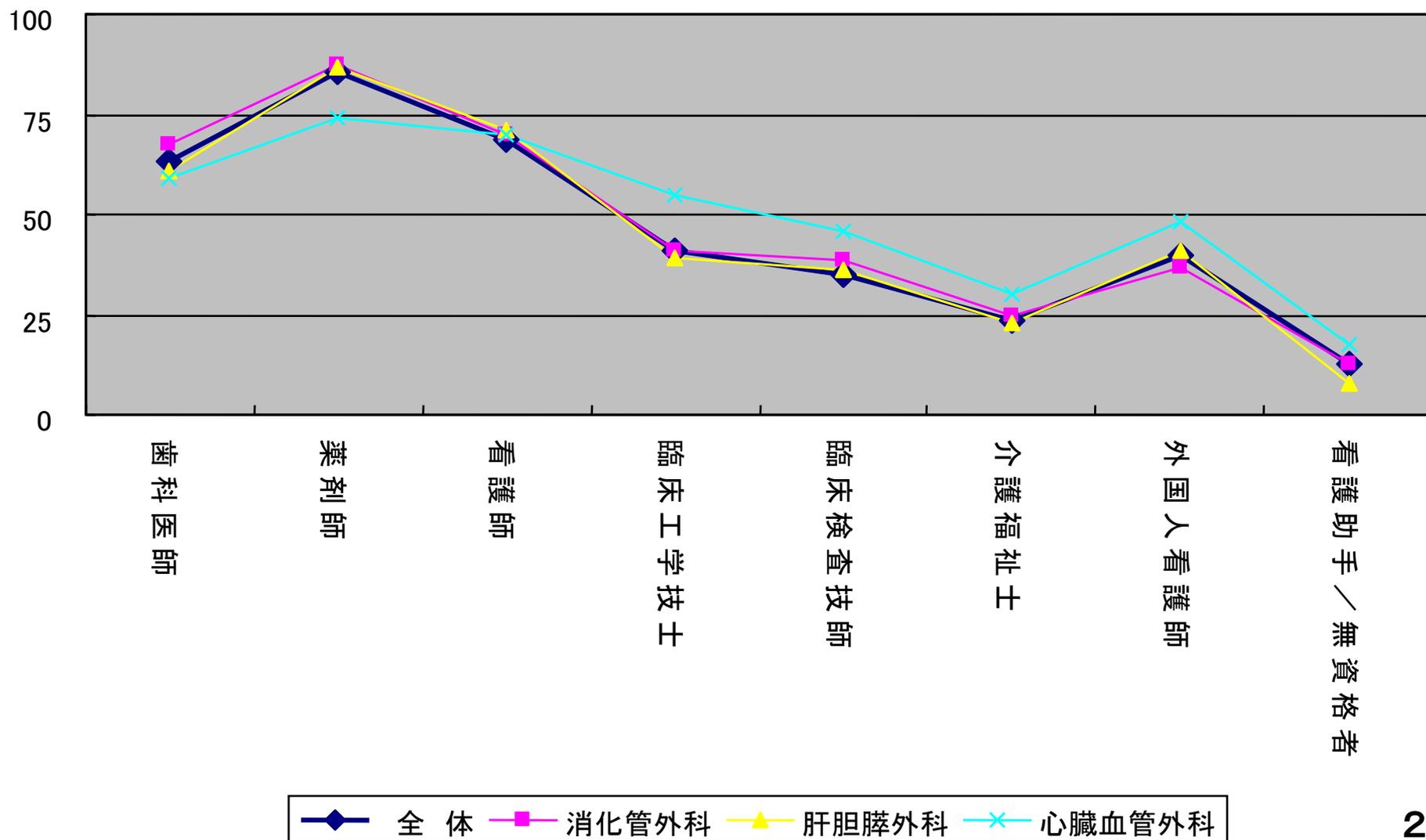


# 気管内チューブ抜管



# プロトコルに基づく薬剤量の変更



# 東北大学病院看護師を対象とした周術期管理における 看護師の業務拡大に関する意識調査

---

2年間の修士課程として基礎医学から臨床医学の高度なまでの  
学習と外科治療および麻酔学の実習を行う事に対する意識調査

---

## 実習内容

外科：術前カンファランス，手術法の検討，手術用器具の  
基礎的知識および保持法，肉眼解剖，  
糸結び法，基本的止血法

麻酔：術前カンファランス，麻酔法の検討，麻酔器の基礎知識，  
麻酔中の呼吸，水分，神経学的生理，麻酔薬，  
筋弛緩薬，循環作動薬の使用法

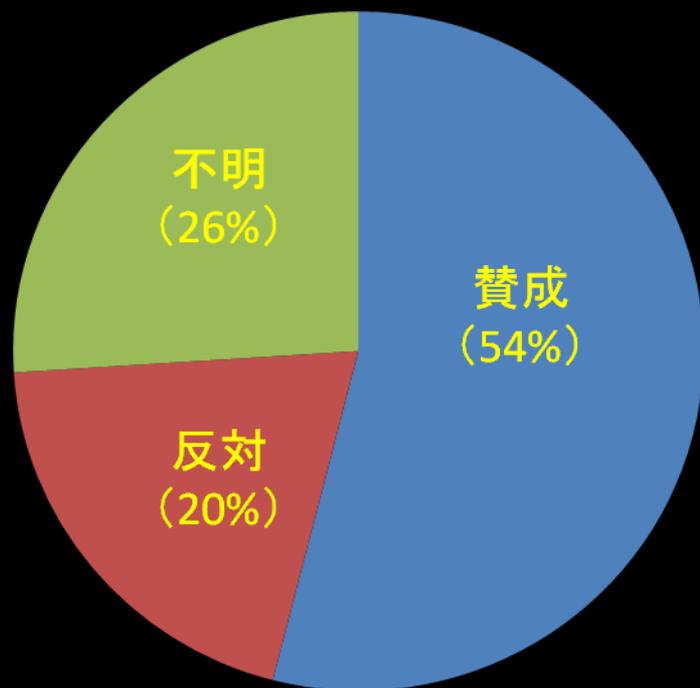
---

アンケート依頼数：1040

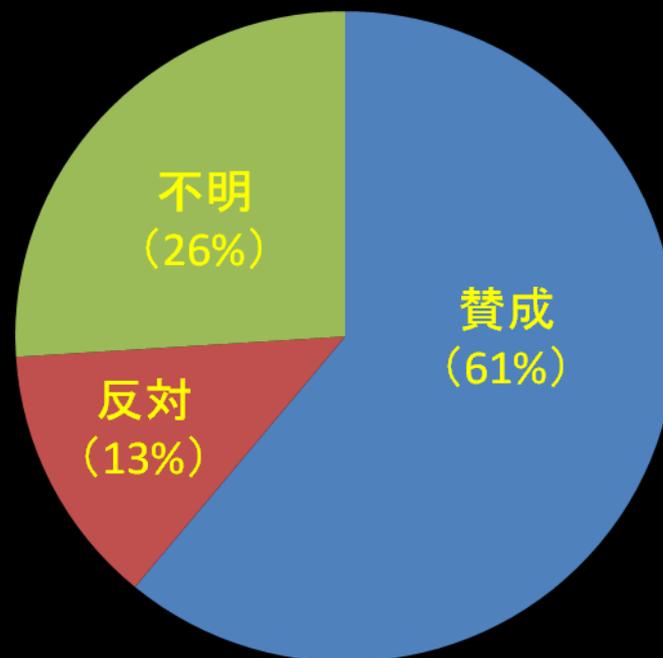
回答数：720（69.2%）

---

# 周術期管理における看護師の業務拡大に関する意識調査



男性



女性

(東北大学病院, 2009年)

# 周術期管理における看護師の業務拡大に対する 賛成の理由

---

1. キャリアアップ
  2. チーム医療に結び付く
  3. 実務医療および看護学が学べる
  4. 手術の安全性が高まる
  5. 医師と同等のレベルで医療に携われる
- 

(東北大学病院, 2009年)

# 周術期管理における看護師の業務拡大に対する 反対の理由

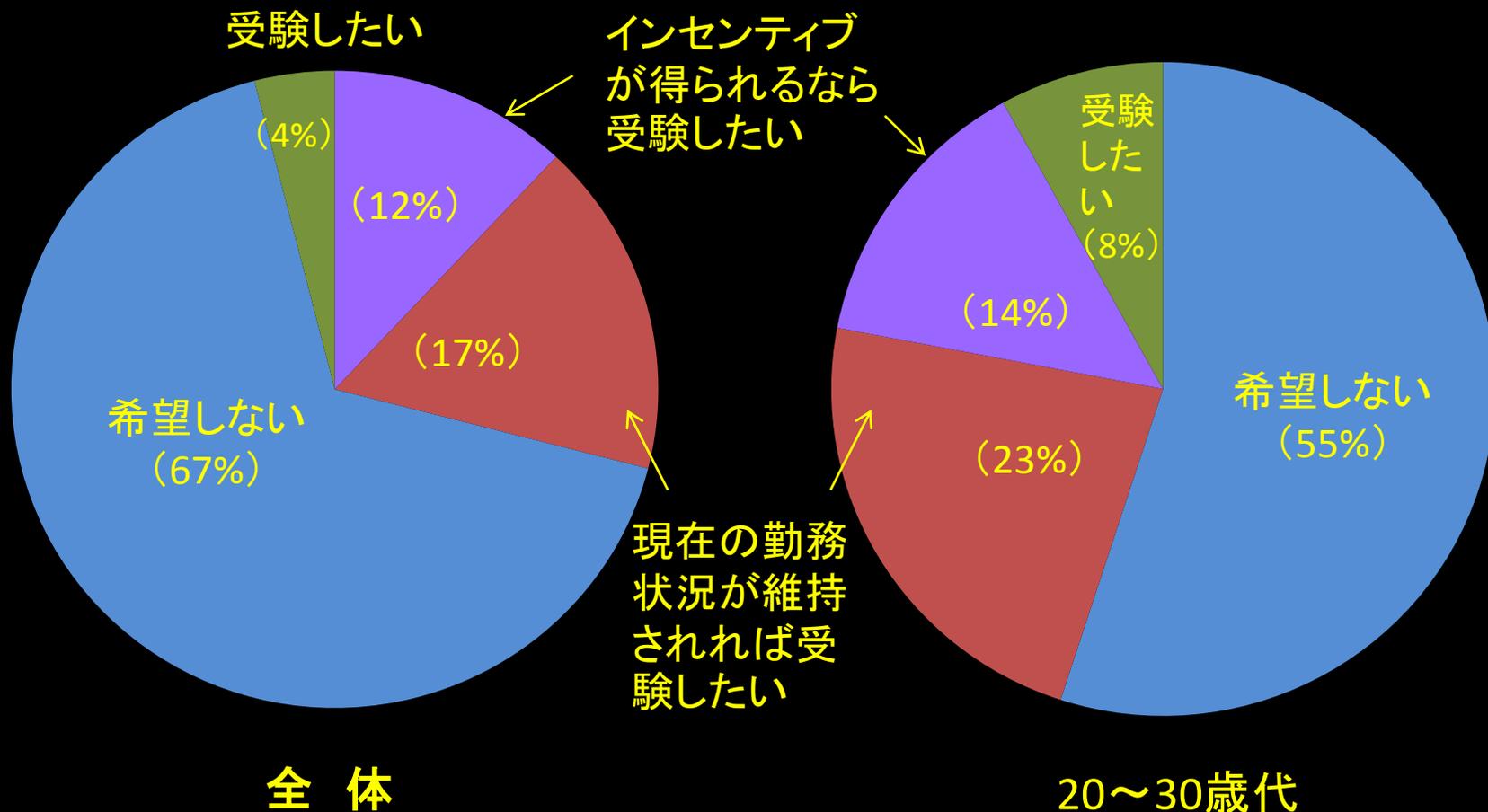
---

1. 責任の所在が不明確になる
2. 看護師の業務拡大より医師数を増やすべき
3. 医師の下働きの様に見える
4. 看護師の仕事量が増える
5. 修士課程の学費、生活費の問題

---

(東北大学病院, 2009年)

# 周術期管理に関する特別に教育訓練する養成コース (2年間の修士課程)ができた場合



(東北大学病院, 2009)

# 日本の実情に合った周術期診療士(仮名)の養成

---

2年間の修士課程として基礎医学から臨床医学の高度なまでの学習と外科治療、麻酔学及び救急・集中治療の実習を行う

---

## 実習内容

外科：術前検査のオーダー、手術説明、術前サマリーの作成、

術前カンファランス, 手術用器具の基礎的知識および保持法, 執刀までの準備、肉眼解剖, スキルズラボでの糸結び法, 基本的止血法、退院時サマリー

麻酔・救急・集中治療：術前カンファランス, 麻酔法の検討, 麻酔器の基礎知識, 麻酔中の呼吸, 水分, 神経学的生理, 麻酔薬, 筋弛緩薬, 循環作動薬の使用法、術後カンファランス、呼吸、循環、水分管理、不整脈、術後検査オーダー、カルテの記入、患者/家族への

# 非医師診療士養成コースでの学習および実習 時間数の比較

	専門看護師	高度実践看護師	国際福祉大学 (NP養成分野)	チーム医療確立の ための班会議(案)	Emory大学 (PA養成分野)
学習時間	240	336	360	450	1980
実習時間	240	400	560	810	720
合計時間	480	736	920	1260	2700

# 日本の実情にあった周術期診療士(仮名)の養成についての提案

---

1. 外科手術、麻酔および救急・集中治療室での医師の指示の下での協働
  2. 高い専門性とモチベーション:ある専門分野への特化
  3. 医師が監督できる周術期診療士数の限定(1-3人)
  4. 医師が患者の医療管理に責任を持つ
  5. 医師は周術期診療士と適切な報告と連絡を保ち、ガイドラインに沿って医療の質を保証する
  6. 患者に医師と周術期診療士が診療に当る旨を知らせ、同意を得る
  7. 周術期診療士の人事権?(看護部からの独立、病院長と看護部長の両者)
-